

# 決算説明

2022年3月期  
第2四半期

2021年10月26日

 株式会社田中化学研究所

# 目次

1. 2022年3月期 第2四半期 決算ハイライト
2. 2022年3月期 第2四半期 決算トピックス
3. 製品別販売数量 前年同期との差異要因
4. 製品別販売Q毎推移
5. 主原料国際価格推移（\$/LBベース）
6. 主原料国際価格推移（円/kgベース）
7. Northvolt（ノースボルト）社に対する  
前駆体製造技術支援契約及び前駆体販売契約締結
8. 営業利益 前年同期との差異要因
9. 営業外収支および特別損益
10. 比較貸借対照表
11. キャッシュ・フロー計算書
12. 今後のリチウムイオン二次電池市場
13. 技術開発の方向性
14. 中期ビジョン
15. 2022年3月期 業績予想
16. 製品別販売数量予想

## 付属資料

17. 業績を見る注意点  
注意事項

# 1. 2022年3月期 第2四半期 決算ハイライト



(単位:百万円)

	2020/9期	2021/9期	増減	増減率
売上高	9,995	19,439	+9,443	+94.5%
営業利益	181	620	+438	+242.3%
経常利益	138	587	+448	+323.5%
四半期純利益	△ 21	497	+518	—
EPS(円)	△ 0.66	15.29	+15.95	—
設備投資額	3,871	676	△3,194	△82.5%
減価償却費	610	780	+169	+27.8%
期末従業員数(人)	308	333	+25	+8.1%

## 2. 2022年3月期 第2四半期 決算トピックス



### ●販売数量は前年同期比 +63.5%

- ・ リチウムイオン電池向け + 74.8% (車載用途 + 136.8%、民生用途  $\Delta$  20.3%)

車載用途: コロナ禍の影響で販売減少はあったものの、前期より回復基調で推移し、主要顧客への販売も増加基調

民生用途: コロナ禍の影響で前期よりも減少

- ・ ニッケル水素電池向け + 31.9% (車載用途 + 41.0%、民生用途  $\Delta$  90.3%)

車載用途: コロナ禍の影響はあったものの、前期より需要回復

### ●主原料相場

- ・ ニッケル相場は前期末より上昇傾向
- ・ コバルト相場は前期末に上昇、当期間は一旦下落するも再び上昇

### ●コスト上昇

- ・ 中期的な増産に向けた  
設備投資による減価償却費の増加  
組織人員体制強化による労務費の増加

### ●設備投資

- ・ 設備投資金額計 676百万円

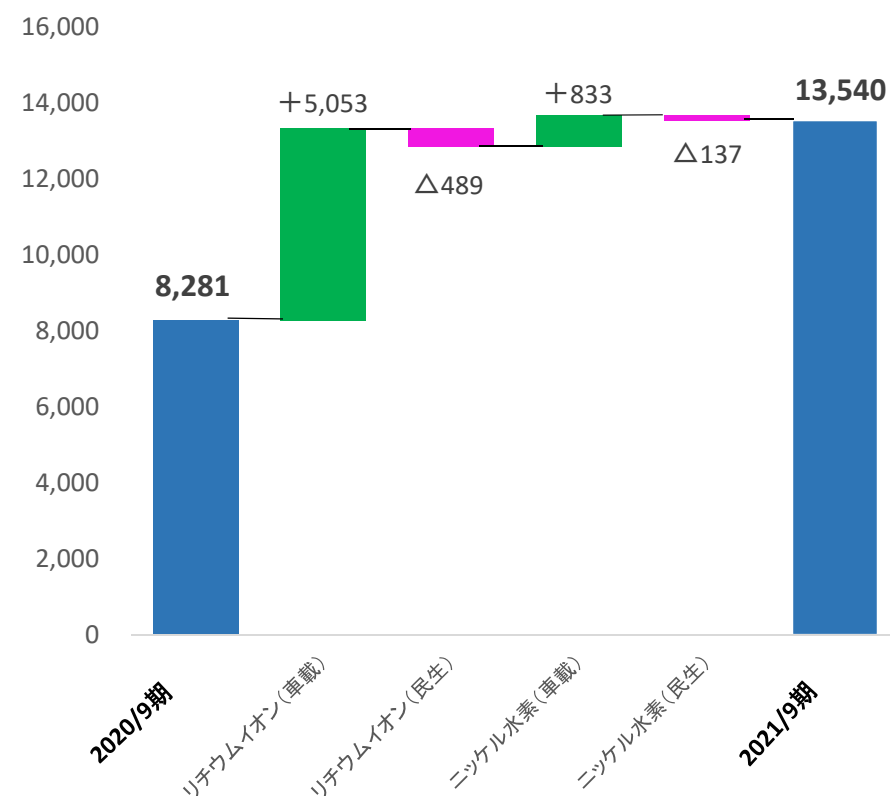
### ●Northvolt (ノースボルト) 社に対する前駆体製造技術支援契約及び前駆体販売契約締結

- ・ 2022年3月期における前駆体製造技術のライセンス及び技術支援契約に基づく技術支援料の収益計上の見込みなし

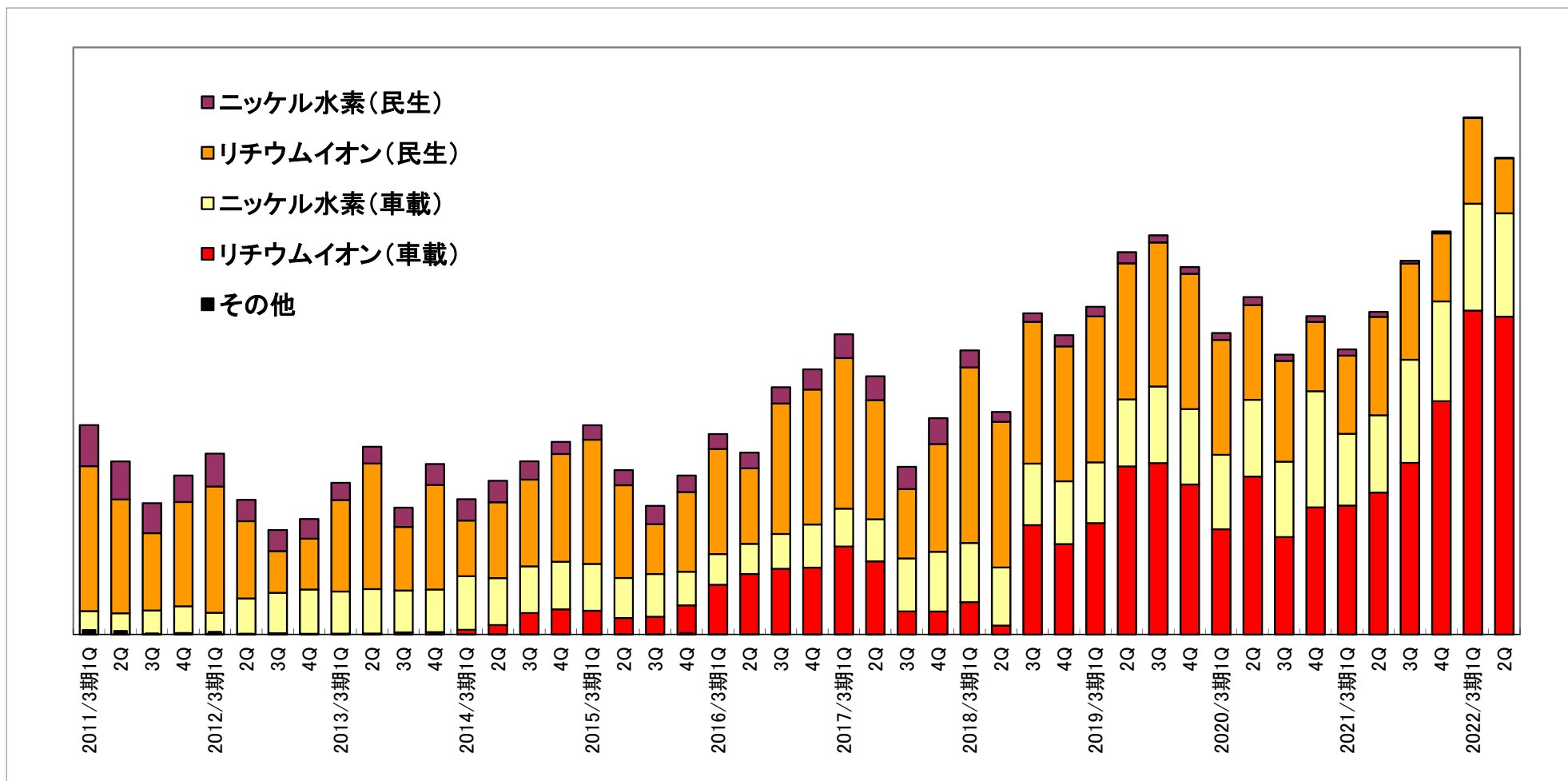
### 3. 製品別販売数量 前年同期との差異要因

(単位:t)

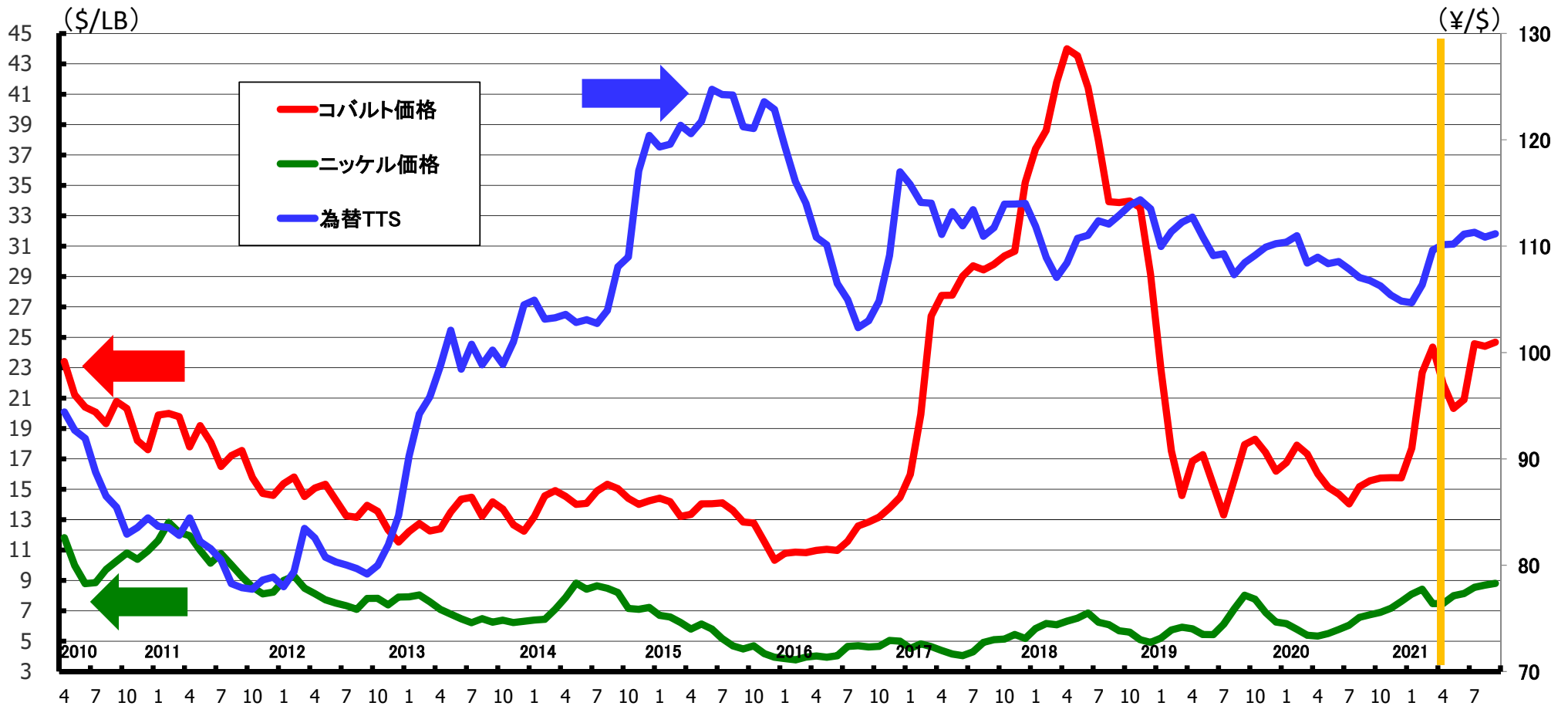
		2020/9期	2021/9期	増減	増減率
リチウムイオン	車載	3,693	8,746	+5,053	136.8%
	民生	2,405	1,916	△489	△20.3%
	計	6,098	10,662	+4,563	+74.8%
ニッケル水素	車載	2,030	2,863	+833	+41.0%
	民生	152	14	△137	△90.3%
	計	2,182	2,877	+695	+31.9%
合計		8,281	13,540	+5,259	+63.5%



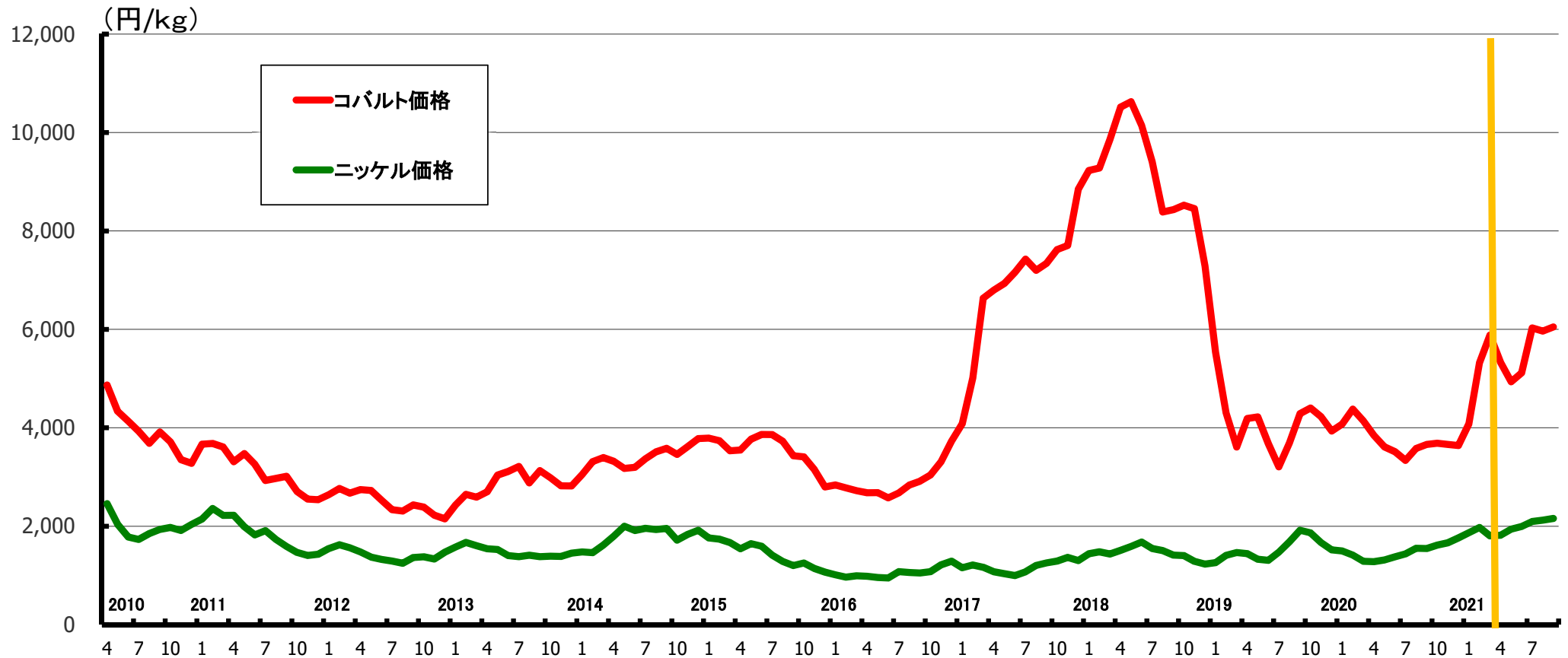
# 4. 製品別販売Q毎推移



# 5. 主原料国際価格推移 (\$/LBベース)



## 6. 主原料国際価格推移 (円/kgベース)





## 7. Northvolt (ノースボルト) 社に対する

### 前駆体製造技術支援契約及び前駆体販売契約締結



#### ● 契約概要（締結日：2019年10月15日）

- ・ 前駆体製造技術のライセンス及び技術支援、前駆体販売契約
- ・ 技術支援の進捗状況に応じて、ライセンス / 技術支援料を受領予定
- ・ 2020年8月6日 契約に基づくライセンス及び技術支援の進捗に応じた売上高10億円を、2021年3月期第2四半期期間(2020年7月1日～2020年9月30日)において計上
- ・ 2022年3月期における前駆体製造技術のライセンス及び技術支援契約に基づく技術支援料の収益計上の見込みなし

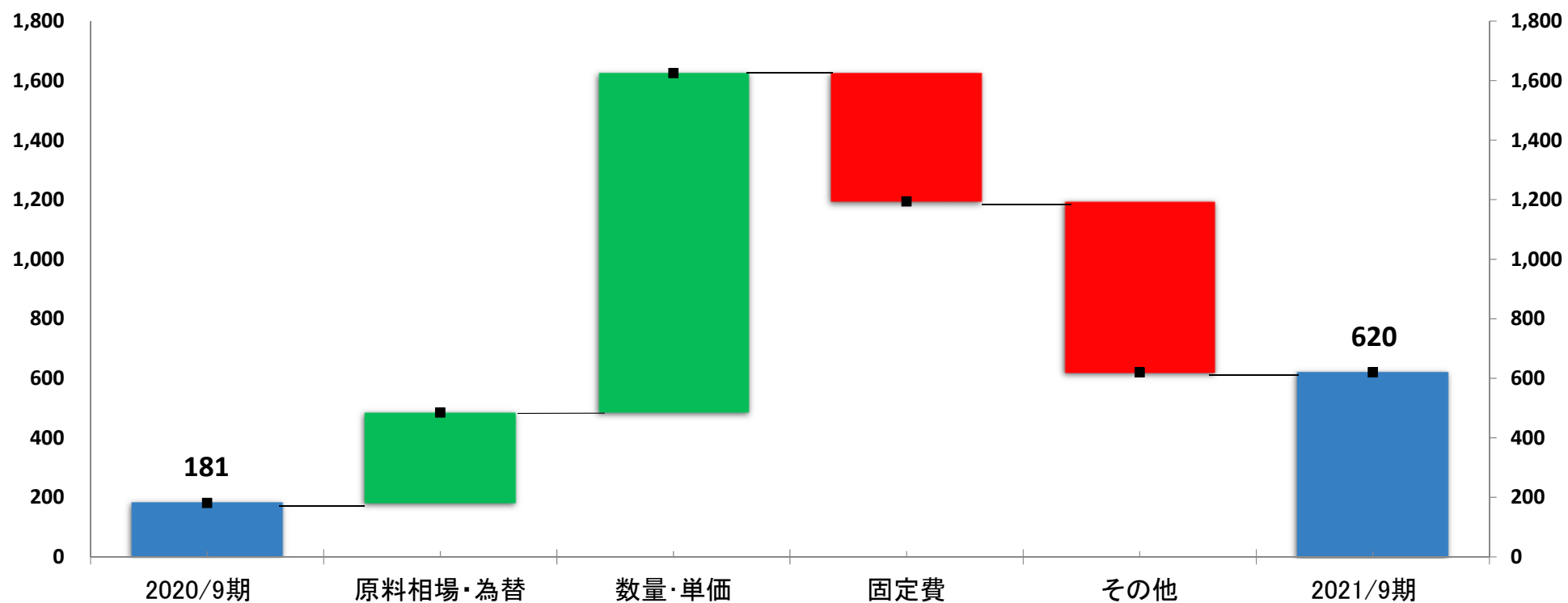
#### ● Northvolt 社の概要

Northvolt 社は、車載用途を中心に次世代リチウムイオン電池の量産を目的として設立

- ・ 名称 : Northvolt Ett AB ( Stockholm, Sweden )
- ・ 事業内容 : リチウムイオン電池の製造販売
- ・ 大株主 : Northvolt AB
- ・ WEBサイトアドレス : <https://northvolt.com/>

## 8. 営業利益 前年同期との差異要因

(百万円)



## 9. 営業外収支および特別損益

(単位:百万円)

	2020/9期	2021/9期	増減
営業外収支	△ 42	△ 33	+9
金融収支	△ 18	△ 38	△20
為替差損益	△ 19	6	+25
その他	△ 4	△ 1	+3
経常利益	138	587	+448
特別損益	12	△0	△12
税引前四半期純利益	150	586	+436
法人税等	172	89	△82
四半期純利益	△ 21	497	+518

# 10. 比較貸借対照表

(単位:百万円)

	2021/3期	2021/9期	増減
流動資産	12,960	14,009	+1,048
現預金	2,529	2,930	+400
売上債権	4,805	5,913	+1,108
棚卸資産	4,612	5,142	+529
グループ預け金	—	—	—
その他	1,012	22	△989
固定資産	20,933	20,880	△53
有形固定資産	20,744	20,671	△73
機械装置他	11,340	14,692	+3,352
土地	1,433	1,433	—
建設仮勘定	7,970	4,545	△3,425
無形固定資産	6	6	+0
投資等	183	201	+18
資産合計	33,894	34,889	+994

	2021/3期	2021/9期	増減
流動負債	8,837	10,083	+1,246
仕入債務	4,819	6,477	+1,658
借入金	1,500	2,000	+500
その他	2,517	1,500	△1,017
固定負債	12,434	11,685	△749
借入金	12,300	11,550	△750
その他	134	135	+0
負債合計	21,272	21,768	+496
資本金	9,155	9,155	—
資本剰余金	6,662	6,662	—
利益剰余金	△ 3,211	△ 2,714	+497
自己株式	△ 2	△ 2	—
その他	18	19	+0
純資産計	12,622	13,120	+498
負債純資産合計	33,894	34,889	+994

自己資本比率	37.2%	37.6%	+0.4%
--------	-------	-------	-------

# 11. キャッシュ・フロー計算書

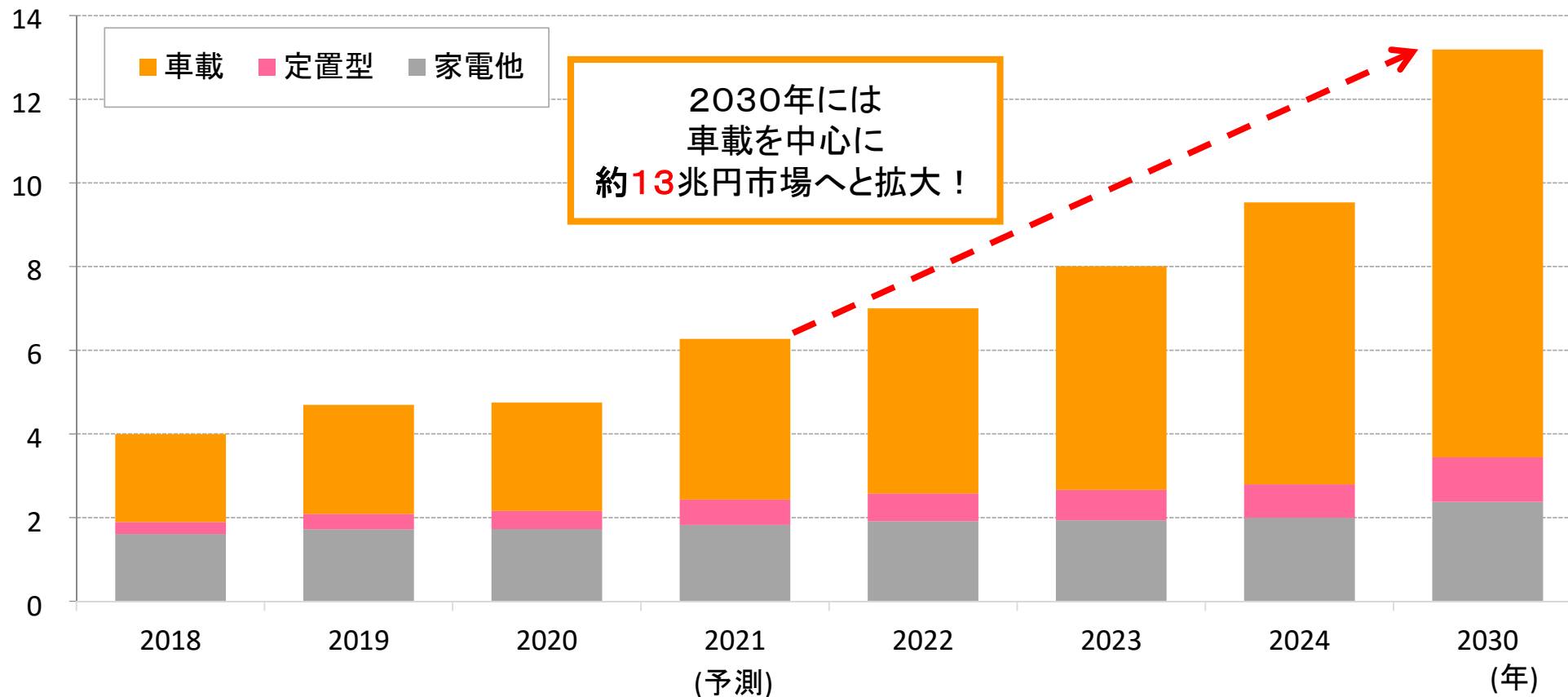
(単位:百万円)

	2020/9期	2021/9期	増減
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前四半期純利益	150	586	+436
減価償却費	610	780	+169
運転資本による資金の増減	1,018	20	△997
その他	△ 968	951	+1,920
営業活動によるキャッシュ・フロー	811	2,339	+1,528
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△ 5,353	△ 1,672	+3,680
その他	△ 0	△ 3	△ 3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,354	△ 1,676	+3,677
フリー・キャッシュ・フロー	△ 4,543	662	+5,206
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増額	—	500	+500
長期借入れによる収入	4,500	—	△4,500
長期借入金の返済による支出	△ 150	△ 750	△600
その他	△ 6	△ 1	+4
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,343	△ 251	△4,595
現預金等換算差額	△ 21	△ 10	+10
現預金等増減額	△ 220	400	+621
期末現預金残高	1,493	2,930	+1,436

# 12. 今後のリチウムイオン二次電池市場

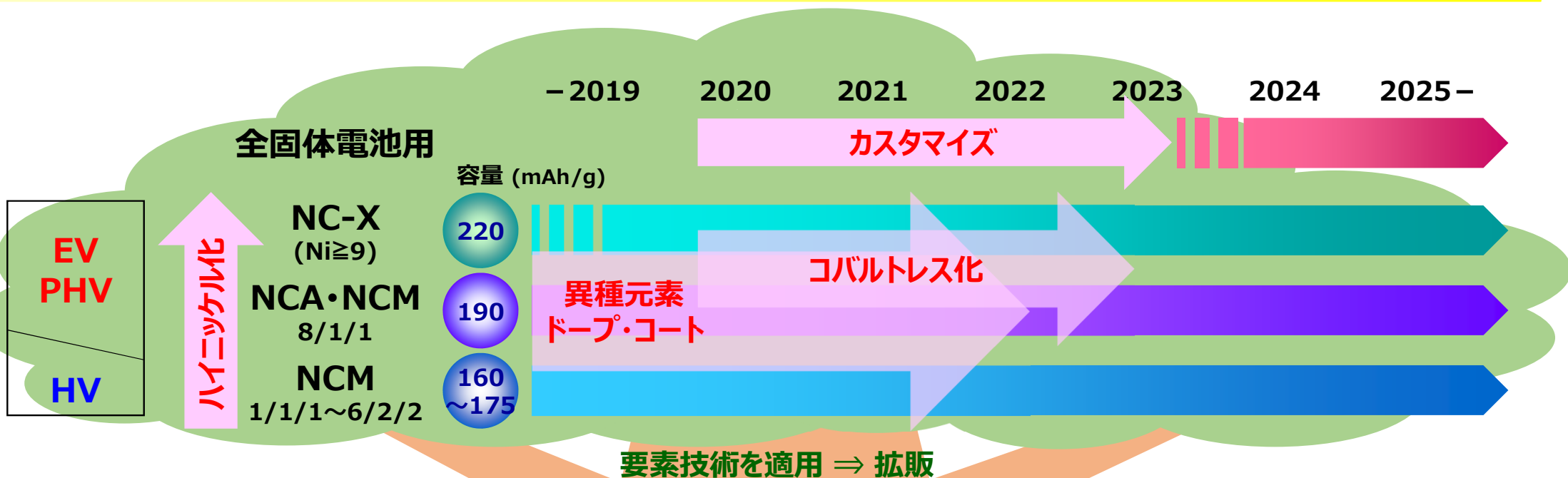
## リチウムイオン二次電池市場予測

(単位:兆円)



出所:富士経済「2020 電池関連市場実態総調査 上巻:電池セル市場編」による 当社推察

# 13. 技術開発の方向性



要素技術を適用 ⇒ 拡販

要素技術	ターゲット
粒子形態・粒径制御	高エネルギー密度
粒度分布狭幅化	耐久性
空隙付与・一次粒子微細化	高出力化、耐久性
プロセス開発	低コスト化

EV  
PHV  
HV

# 14. 中期ビジョン

中長期的に二次電池向け材料市場で存在感あるポジションを確立

中長期的な拡販  
+  
用途・地域ポート  
フォリオの最適化

- ✓ 生産能力(2,000t/月以上アップ) ⇒ 拡販
- ✓ 日本、韓国、中国、欧州にバランスよく

技術開発  
+  
合理化  
生産性向上

- ✓ 要素技術の複合化
- ✓ 原材料コストダウン
- ✓ 収率向上・省力化
- ✓ 既存設備能力増強



# 15. 2022年3月期 業績予想

(単位:百万円)

	2022/3期		増減	(ご参考) 2021/3期 実績
	前回発表 予想	今回修正 予想		
売上高	33,000	43,000	+10,000	22,754
営業利益	△ 650	800	+1,450	△ 20
経常利益	△ 700	730	+1,430	△ 30
当期純利益	△ 900	650	+1,550	△ 414

※上記の予想については、当社が現時点で入手可能な情報による判断、仮定及び確信に基づくものであり、今後の経済情勢、事業運営における様々な状況変化によって、実際の業績等は予想値と異なる場合がある。

※第1～2四半期において、ニッケル及びコバルトの国際相場が上昇基調で推移したことが、利益の増加要因になっているものの、今後の相場動向は不透明であることから、第3～4四半期においてはニッケル、及びコバルトの国際相場の影響を織り込んでいない。

※Northvolt 社と締結している前駆体製造技術のライセンス及び技術支援契約に基づく技術支援料の収益計上は見込んでいない。

※新型コロナウイルスの感染拡大の影響については、現時点では今後の動向が不透明であるため、上記の予想には織り込んでいない。

# 16. 製品別販売数量予想

(単位:t)

		2021/3期	2022/3期	増減	増減率
リチウムイオン	車載	9,212	19,900	+10,688	+116.0%
	民生	4,640	3,400	△1,240	△26.7%
	計	13,852	23,300	+9,447	+68.2%
ニッケル水素	車載	4,794	6,300	+1,505	+31.4%
	民生	216	14	△201	△93.2%
	計	5,011	6,314	+1,303	+26.0%
合計		18,863	29,614	+10,750	+57.0%

# 付属資料

# 17. 業績を見る注意点

販売単価

$$\begin{aligned} \text{売上高} &= (\text{主原料国際価格} + \text{加工単価}) \times \text{販売数量} \\ &= (\text{主原料国際価格} \times \text{販売数量}) + (\text{加工単価} \times \text{販売数量}) \end{aligned}$$

//  
利益に関係なく増減

//  
利益の源泉  
(加工収入)

1. 販売単価は、原則として主原料国際価格にスライドする。  
従って、売上高は主原料国際価格の変動により利益に関係なく上下する。
2. 利益は「加工単価」と「販売数量」の積である加工収入にリンクしている。
3. 「加工単価」は製品の鮮度、技術的な革新性、工程の複雑さなどによる。

## (注意事項)

本資料に掲載されている田中化学研究所の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しです。これらの情報は現在入手可能な情報から得られた情報にもとづき算出したものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績等に重大な影響を与えうる重要な要因としては、田中化学研究所の事業領域をとりまく経済情勢、市場における田中化学研究所の製品に対する需要動向、競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場において田中化学研究所が引き続き顧客に受け入れられる製品を提供できる能力、為替レートの変動などがあります。但し、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。